

Language& Cultural Competence Test

ここまで、翻訳英文法と Plain Written English の基本ルールのごく一部を取り上げ、CPT 試験の問題解答のヒントとして考えてきました。これらのルールは、一つの指針であり、もちろんすべての場合に当てはまるとは限りませんが、英語⇄日本語の翻訳において広く役に立つといえるでしょう。

最後に、翻訳英文法と Plain Written English のルールを一覧として載せますので、参考にして下さい。

Babel University Professional School of Translation 翻訳英文法 基本ルール 講座 一目から鱗の翻訳ルール

翻訳作業には複雑なプロセスがあります。このプロセスを、英文法の枠組みを利用して31のルールに体系化したものが、「バベル翻訳英文法」です。このルールを使いこなすことで、直訳ではない自然な日本語表現に上げることができます。

ジャンルを問わず翻訳者に欠かせない基本技術として、多くのプロの翻訳家もこの講座から始めました。高校卒業程度の英文法知識があればどなたでも受講できます。この講座ではじめの一步を踏み出してください。

受講生の声

(佐々木良一さん)

31の基本的な翻訳のルールを知っていると知らないのとでは大きな差があると思います。帰国子女で幼いころからアメリカ文化の中で育ちましたが、帰国後、英語ができることと、きちんと通訳や翻訳ができることはまったく別だと思、「翻訳英文法」の勉強を始めました。

例文がとても面白くて、飽きっぽい私でも気がつく最後まで勉強してしまいました。おまけに時期を同じくして書籍の翻訳の仕事が舞い込んできたのです。好きなニューエージ系の本でした。この時にどれほどバベルの翻訳英文法が役に立ったかわかりません。また、日本語という言葉の芸術的な美しさに目覚めさせてくれたのもこの講座のおかげです。訳していくうちに日本語の難しさを痛感したと同時に、その繊細さにすっかり魅せられてしまいました。本当にありがとうございました。



カリキュラム

- 第1回 ●語順—原文の流れを生かす、主語を表す所有格、他
- 第2回 ●< of + 名詞 >—主語を表す場合、無生物主語の構文、他
- 第3回 ●反復を避けるための that, one、関係代名詞は分解する、他
- 第4回 ●形容詞・副詞を述語に— many, some, 他
- 第5回 ●否定のからんだ比較表現、比較級・最上級、他
- 第6回 ●受動態—自動詞を使って能動態に、by ~ を主語にして能動態に、他
- 第7回 ●主語や副詞句に仮定が含まれている場合、直接法を生かす、他

- 第8回 ●省略(共通)構文、接続詞— except, without, 他
- 【講義回数】8回
- 【提出課題】8回
- 【受講期間】8ヶ月
- 【講義タイプ】通学講座(東京)またはインターネット通信講座
- 【受講料】通学講座: 84,000円(税込) / インターネット通信講座 82,800円(税込)
- ※初回のみ入学金 21,000円(税込) 別途必要
- 【開講】年4回
- 【講師】中島順(翻訳家)、柴田裕之(翻訳家、バベル翻訳大学院(USA)プロフェッサー)

最新の開講スケジュールの詳細は下記のWEBページをご覧ください。

<http://www.babel.edu/program/schooling.html>

インターネット講座の体験版をお試しいただけます。下記のWEBページをご覧ください。

<http://www.babel.edu/program/cc.html>